



## 2020年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社サカイホールディングス  
 コード番号 9446 URL <http://sakai-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 貴將

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田川 正彦

TEL 052-262-4499

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	11,387	8.3	875	52.8	760	66.3	388	43.2
2019年9月期第3四半期	12,418	15.3	573	22.8	457	28.6	271	32.5

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 296百万円 (259.9%) 2019年9月期第3四半期 82百万円 (74.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	37.88	37.49
2019年9月期第3四半期	26.23	25.79

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	27,883	3,318	10.8
2019年9月期	26,757	3,282	10.9

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 3,011百万円 2019年9月期 2,921百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		12.50		12.50	25.00
2020年9月期		12.50			
2020年9月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,604	0.9	927	5.6	749	4.9	364	1.1	35.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期3Q	10,956,500 株	2019年9月期	10,956,500 株
期末自己株式数	2020年9月期3Q	682,628 株	2019年9月期	693,628 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期3Q	10,267,143 株	2019年9月期3Q	10,353,509 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、幅広い業態に新型コロナウイルス感染症の影響が拡大し、企業業績については過去に経験のない出口が不透明な低迷期間に突入するなか、我が国経済のみならず世界的にも経済環境の急速な悪化が顕著となってまいりました。

このような経済環境のもとで、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は11,387百万円（前年同四半期比8.3%減）、営業利益は875百万円（前年同四半期比52.8%増）、経常利益は760百万円（前年同四半期比66.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は388百万円（前年同四半期比43.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間よりエスケイアイフロンティア株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントとして「ビジネスソリューション事業」を新たに追加し、報告セグメントを従来の5区分から、6区分に変更しております。

#### ①再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、2020年6月末日に3発電所を取得しており、現在太陽光発電所15ヶ所（内1ヶ所は子会社のエスケイアイ開発株式会社が運営）が順調に稼働しております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,595百万円（前年同四半期比31.6%増）、営業利益は649百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。

#### ②移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、2020年3月末現在で携帯電話の普及台数が18,215万台を超えましたが、2020年5月にiPhoneの新機種（SE）が発売され、各移動体通信事業者とも積極的な販売競争を展開すると共に、電力と通信等とのセット販売を継続しており、各店舗において顧客満足度の向上と総合力アップを図りながら販売促進に努めた結果、各店舗の評価も向上し業績の向上に繋がりました。しかしながら、使用期間が長期化する他、新型コロナウイルス感染防止のため各店舗の営業時間も部分的に短縮された影響もあり、販売台数は減少いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は、新規・機種変更を合わせ67,028台（前年同四半期比14.4%減）となりましたが、積極的な営業施策を展開し、顧客満足度の向上と各店舗の総合力を向上した結果、売上高は8,466百万円（前年同四半期比14.1%減）でしたが、営業利益は873百万円（前年同四半期比80.9%増）となりました。

#### ③保険代理店事業

コールセンターを拠点とした保険代理店事業につきましては、子会社である株式会社セントラルパートナーズにおいて、販売力と一人あたりの生産性の向上に繋げるほか、リスク分散も考慮し複数の保険会社の商品の取扱を継続しております。しかしながら、外的要因から保険契約の解約が集中し、ストック手数料の大幅減収に繋がった他、新型コロナウイルス感染防止のため、第2四半期以降コールセンターの稼働率が低下した影響が大きく、新規契約獲得の鈍化に繋がりました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は614百万円（前年同四半期比22.8%減）、営業損失は135百万円（前年同四半期は営業利益1百万円）となりました。

#### ④葬祭事業

葬祭事業につきましては、子会社であるエスケイアイマネジメント株式会社を2009年9月に設立後、2010年7月に葬儀会館「ティア西尾」をオープン以降当期3月に愛知県知立市の葬儀会館「ティア知立」の営業を譲受して現在8会館を運営しております。当面、新型コロナウイルス感染防止の影響から葬儀件数、法要件数の減少と各々の1件あたりの単価の低下が見込まれる状況ですが、引続き今後の需要を見据えた積極的な営業施策を継続し会員の増加にも努めております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は619百万円（前年同四半期比23.4%増）、営業利益は24百万円（前年同四半期比19.3%増）となりました。

⑤不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、子会社であるエスケアアイ開発株式会社で2007年8月に大型立体駐車場「エスケアアイパーク法王町」を名古屋市千種区にオープン後、稼働率が順調に推移しておりますが、今後も駐車場周辺の各施設の営業時間短縮等が予想されるため、稼働率が低下し売上減少に繋がりました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は55百万円（前年同四半期比15.7%減）、営業利益は7百万円（前年同四半期比59.9%減）となりました。

⑥ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業につきましては、子会社であるエスケアイフロンティア株式会社を2018年11月に設立後、新電力と携帯電話の法人市場への販売を積極的に行い軌道に乗って参りましたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から積極的な営業は見合わせており、業績への影響が出ました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は47百万円、営業損失は22百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は27,883百万円となり、前連結会計年度末の資産合計26,757百万円と比べ1,125百万円増加しました。これは主に、売掛金が589百万円、その他流動資産が176百万円、投資その他の資産が162百万円減少した一方で、現金及び預金が361百万円、有形固定資産が1,083百万円、無形固定資産が643百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は24,565百万円となり、前連結会計年度末の負債合計23,475百万円と比べ1,089百万円増加しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が186百万円、長期借入金が1,385百万円増加した一方で、買掛金が381百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は3,318百万円となり、前連結会計年度末の純資産合計3,282百万円と比べ36百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が116百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が68百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の業績予想につきましては、第3四半期の業績は予想金額に対し、売上高の進捗が遅れているものの各利益面では堅調に推移しております。しかしながら、第4四半期の新型コロナウイルス感染症拡大による、各子会社事業に及ぼす影響が予測出来ず、業績変動に対する予測が不可能なため、通期の計画（2019年11月11日付の決算短信で公表）を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,294,404	4,655,582
売掛金	2,988,201	2,398,838
商品	625,306	597,950
その他	465,543	288,548
貸倒引当金	—	△5,250
流動資産合計	8,373,457	7,935,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,323,429	2,489,461
機械装置及び運搬具（純額）	9,807,241	10,429,891
土地	3,339,560	3,661,482
建設仮勘定	71,614	35,594
その他（純額）	62,720	71,479
有形固定資産合計	15,604,566	16,687,909
無形固定資産		
のれん	600,996	1,244,716
その他	508,981	508,376
無形固定資産合計	1,109,978	1,753,092
投資その他の資産		
その他	1,677,715	1,515,053
貸倒引当金	△7,863	△7,884
投資その他の資産合計	1,669,852	1,507,169
固定資産合計	18,384,397	19,948,171
資産合計	26,757,854	27,883,841
負債の部		
流動負債		
買掛金	986,732	605,670
短期借入金	4,560,000	4,490,000
1年内償還予定の社債	500,000	530,000
1年内返済予定の長期借入金	1,211,691	1,398,394
未払法人税等	239,933	199,344
賞与引当金	144,112	73,427
役員賞与引当金	64,500	43,195
その他	633,541	785,668
流動負債合計	8,340,511	8,125,699
固定負債		
社債	740,000	910,000
長期借入金	13,272,748	14,658,507
繰延税金負債	348,087	99,109
役員退職慰労引当金	137,000	159,500
退職給付に係る負債	113,738	121,556
資産除去債務	276,319	283,571
その他	246,712	207,132
固定負債合計	15,134,605	16,439,377
負債合計	23,475,116	24,565,077

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	747,419	747,419
資本剰余金	684,918	684,918
利益剰余金	2,190,132	2,306,768
自己株式	△888,452	△874,363
株主資本合計	2,734,017	2,864,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	336,725	268,528
繰延ヘッジ損益	△148,914	△121,367
その他の包括利益累計額合計	187,810	147,160
新株予約権	9,347	8,909
非支配株主持分	351,561	297,949
純資産合計	3,282,737	3,318,763
負債純資産合計	26,757,854	27,883,841

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年10月1日 至 2019年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年10月1日 至 2020年6月30日）
売上高	12,418,895	11,387,210
売上原価	8,251,136	6,937,594
売上総利益	4,167,759	4,449,616
販売費及び一般管理費	3,594,563	3,573,969
営業利益	573,195	875,647
営業外収益		
受取利息	76	128
受取配当金	26,406	27,424
受取保険金	8,769	14,339
投資有価証券売却益	—	854
設備補助金収入	8,149	—
営業支援金収入	18,600	30,000
その他	23,842	31,664
営業外収益合計	85,844	104,411
営業外費用		
支払利息	134,181	140,485
融資手数料	30,956	40,963
社債発行費	—	9,711
為替差損	4	0
その他	36,580	28,273
営業外費用合計	201,722	219,433
経常利益	457,317	760,625
特別利益		
固定資産売却益	5,132	—
特別利益合計	5,132	—
特別損失		
固定資産除却損	10,117	11,124
投資有価証券評価損	—	23,038
減損損失	26,084	30,689
特別損失合計	36,202	64,852
税金等調整前四半期純利益	426,247	695,773
法人税等	156,031	358,680
四半期純利益	270,215	337,092
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,361	△51,876
親会社株主に帰属する四半期純利益	271,577	388,969



（四半期連結包括利益計算書）  
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年10月1日 至 2019年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年10月1日 至 2020年6月30日）
四半期純利益	270,215	337,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93,977	△68,197
繰延ヘッジ損益	△93,865	27,547
その他の包括利益合計	△187,842	△40,650
四半期包括利益	82,373	296,442
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,644	348,319
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,271	△51,876

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったエスケーアイフロンティア株式会社は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年10月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売 関連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,212,399	9,858,521	795,686	502,376	49,912	12,418,895	—	12,418,895
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	15,538	15,538	△15,538	—
計	1,212,399	9,858,521	795,686	502,376	65,450	12,434,434	△15,538	12,418,895
セグメント利益	560,536	482,977	1,241	20,287	19,669	1,084,711	△511,515	573,195

(注) 1. セグメント利益の調整額△511,515千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△512,931千円及び、その他の調整額1,415千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「移動体通信機器販売関連事業」セグメントにおいて、26,084千円の固定資産の減損損失を計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

「再生可能エネルギー事業」セグメントにおいて、熊本県八代市の太陽光発電設備及び三重県伊賀市の土地購入に伴い売電の権利を譲受けたことにより、のれん金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては341,607千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2019年10月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売 関連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	ビジネスソ リユースシ ョン事業	計		
売上高									
外部顧 客への 売上高	1,595,194	8,466,490	614,647	619,958	43,889	47,028	11,387,210	—	11,387,210
セグメン ト間の 内部 売上高 又は振 替高	—	—	—	—	11,252	—	11,252	△11,252	—
計	1,595,194	8,466,490	614,647	619,958	55,142	47,028	11,398,462	△11,252	11,387,210
セグメン ト利益 又は損失 (△)	649,781	873,584	△135,380	24,201	7,886	△22,380	1,397,691	△522,044	875,647

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△522,044千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△528,533千円及び、その他の調整額6,489千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間からエスケイアイフロンティア株式会社を連結の範囲に含めたことにより、「ビジネスソリューション事業」を報告セグメントに追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「再生可能エネルギー事業」セグメントにおいて、千葉県香取市、茨城県牛久市及び宮城県仙台市の太陽光発電設備及び土地購入に伴い売電の権利を譲受けたことにより、のれん金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては631,745千円であります。